

日本語教育通信

http://www.jpff.go.jp/j/japanese/survey/tsushin/index.html

編集 独立行政法人 国際交流基金

第67号

2010年10月～2011年3月 JAPAN FOUNDATION



目次

Contents



日本語教育ニュース 2010年11月

「新しい日本語能力試験」が始まりました。

あた にはんご のうりょくし けん はじ



Nihongo Kyoiku News Nov, 2010

Japanese-Language Proficiency Test has been renewed



授業のヒント 2011年1月

アニメ・マンガを通して日本語を
楽しく学ぶ

たの まな



Ideas for Japanese-Language Classrooms Jan, 2011

Learning Japanese in a Fun Way through Anime & Manga



日本語の教え方 イロハ 2010年11月

「文法の教え方—実際の場面で使えるようになるために—」

ぶんぽう おし かた じつさい ばめん つか



The First Step Teaching Japanese Nov, 2010

Teaching Grammar for Practical Use



文法を楽しく 2010年12月、2011年3月

「そくだ／よくだ／らしい」(1)(2)



Enjoy Japanese Grammar

Dec, 2010 and March, 2011

soda, yoda, rashii (1)(2)



本ばこ 2010年10月～2011年3月

新刊教材・図書紹介

しん かん ぎょうざい と しょしょうかい



Bookshelf

Oct, 2010-Mar, 2011

Introduction of New Titles

『日本語教育通信』

編集：独立行政法人 国際交流基金
〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36
国際交流基金日本語国際センター
TEL: +81-48-834-1183 FAX: +81-48-831-7846
E-Mail: jfnckt@jpf.go.jp
編集協力：株式会社アーバン・コネクションズ

編集部から

「日本語教育通信」は2009年5月から、印刷物としての発行を休止し、webサイトのみでの提供となりました。毎月、いずれかのコーナーの記事が更新されます。
2010年10月から2011年3月までの記事をまとめて第67号としました。印刷して保存するときにこの表紙をお使いください。



日本語教育ニュース

にほんごきょういく

「新しい日本語能力試験」が始まりました

あたらにほんごのうりよくしけんはじ

日本語試験センター

にほんごしけん

2010年7月4日曜日、日本語能力試験が実施され、日本を含む世界14の国・地域¹で、約22万人が受験しました。今回の試験は、2005年から始まった日本語能力試験の改定作業を終えて初めて実施された、「新しい日本語能力試験」です。日本語能力試験が、どのような背景のもとに、どのように変わったかについて紹介します。

1. 改定の背景

かいていはいけい

日本語能力試験を改定したのにはいくつかの理由があります。第一に、世界中で日本語を学ぶ人が増え、日本語能力試験を受験する目的も多様になったことです。国際交流基金が3年ごとに実施している「日本語教育機関調査」によると、海外の日本語学習者数は、1979年には約12万7千人でしたが、2009年には約365万人になりました。日本語能力試験の受験者数も、試験が始まった1984年には約7千人でしたが、日本語学習者数と共に増えて、2009年には約77万人になりました。それに伴って、日本語能力試験の受験目的も、実力の測定だけでなく、就職・昇給・昇格・資格認定への活用など多様になり、そのような目的のために役に立つ試験が期待されるようになりました。

また、試験が始まって20年以上の間に、応用言語学、日本語教育学、テスト理論などの発展がありました。日本語能力試験に関してもさまざまな要望や提言が寄せられるようになりました。そこで、国際交流基金と、共催者である日本国際教育支援協会は、日本語能力試験の20年をこえるデータの蓄積をもとに、研究の成果や要望などを反映させて試験を改定することにしました。

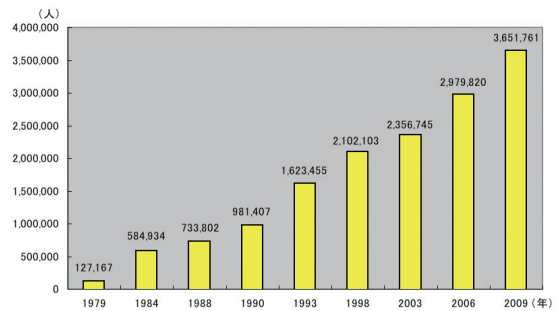


図1 日本語学習者数の推移

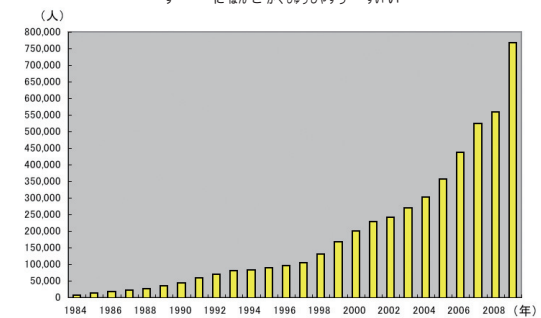


図2 日本語能力試験 受験者数の推移

2. 改定のポイント：コミュニケーション能力を重視した5レベルの試験になりました

かいていはのうりよくしけん

N1	合格ラインは旧試験の1級とほぼ同じ ただし、旧試験の1級よりやや高めのレベルまで測れるようになる
N2	旧試験の2級とほぼ同じレベル
N3	旧試験の2級と3級の間のレベル 【新設】
N4	旧試験の3級とほぼ同じレベル
N5	旧試験の4級とほぼ同じレベル

図3 新旧試験のレベルの対応

では、「新しい日本語能力試験」(新試験)は、どのような試験になったのでしょうか。

第一に、言語によるコミュニケーション能力をより重視した試験になりました。新試験では、日本語の文字や語彙、文法についてどのくらい知っているかだけでなく、その知識を実際のコミュニケーションで使えるかも大切だと考えます。そこで、「言語知識(文字・語彙・文法)」、「読解」と「聴解」という試験科目によって測ります。新試験は、これらの組み合わせにより、総合的に日本語のコミュニケーション能力を測る試験になりました。

また、2009年までの試験(旧試験)のレベルは4段階

(1級、2級、3級、4級)でした。新試験では、レベルがひとつ増えて5段階(N1、N2、N3、N4、N5)になり、より自分に合ったレベルが選べるようになりました。

3. 改定のポイント：日本語の能力をより正確に測るため、得点の出し方が変わりました

新試験では、受験者の日本語能力をより正確に測るため、得点の出し方を変えました。

旧試験では、「何問正解したか」をもとに得点を計算していました。これを「素点」といいます。試験問題は、どんなに注意して作っても、毎回少しずつ難しさが変わります。素点では、試験が難しかったときと易しかったときとで、同じ能力の人でも得点が違ってきます。

新試験では、受験者一人一人がどのような問題にどのように解答しているか（正解したかまちがったか）を調べて得点を計算します。これを「尺度得点」といいます。尺度得点では、試験が難しかったか易しかったかに関係なく、どの回の試験でも、同じ能力であれば同じ得点になります。それにより、試験を受けたときの日本語能力をより正確に、そして公平に、得点に表すことができます。

また、試験結果の通知の際には「参考情報」をつけることにしました。これは、尺度得点の区分が、「言語知識（文字・語彙・文法）」のように、複数の要素で構成されている場合に、その要素（文字・語彙と文法）ごとの正答率²をA～Cの3段階で表示するものです。これにより受験者は、何がどのくらいできたかがわかり、今後の日本語学習の参考にすることができます。

レベル: Level: N1	得点区分別得点 Scores by Scoring Section			総合得点 Total Score
合格 Passed	言語知識(文字・語彙・文法) Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)	読解 Reading	聴解 Listening	
	50/60	30/60	40/60	120/180
	参考情報 Reference Information			
	文字・語彙 Vocabulary	文法 Grammar		
	A	B		

図4 合格結果通知書（見本：N1～N3）

4. 改定のポイント：試験の結果から、日本語を使ってどんなことができるかがイメージしやすくなります

さらに、新試験では、試験の結果を解釈するための参考資料として、「日本語能力試験 Can-do リスト」（仮称）を提供します。

このリストは、各レベルの合格者が、実際に日本語を使って、どのようなこと（読む・話す・聞く・書く）ができると考えているかを調査して、その結果をレベルごとにまとめたものです。このリストを見ると、受験者やまわりの人々は「このレベルの合格者は、学習・生活・仕事などの実際の場面で日本語を使ってどんなことができそうか」のイメージが持てるようになります。

現在、新試験の受験者にアンケート調査を行っており、その結果をまとめて、2011年3月にまずN1、N2、N3レベルのリストを発表する予定です。

5. 新しい試験の始まりに：ロゴタイプとウェブサイトリニューアル



図5 日本語能力試験ロゴタイプ

試験の改定に合わせて、新たに、日本語能力試験のロゴタイプを定めました。一般公募して集まった、825作品の中から選んだものです。このロゴタイプを使って、新しいデザインのポスターを作り、公式ウェブサイト（www.jlpt.jp）をリニューアルしました。公式ウェブサイトには、新試験についてもっとくわしい説明がのっています。新試験のレベル別問題例や日本語教師向けの資料集などもありますので、ぜひ利用してください。

ください。

「新しい日本語能力試験」が、新しいロゴタイプやウェブサイトと共に、いっそう親しまれ、活用されていくことを願っています。

1 日本語能力試験は、2009年から、7月と12月の年2回、実施しています。ただし海外では、12月に1回だけ実施して、7月の試験を実施しない国もあります。2010年第2回（12月）試験は、日本を含む58の国・地域での実施を予定しています。

2 各要素の問題数全体に占める、正解した問題数の割合のこと。正答率67%以上は「A」、34%以上67%未満は「B」、34%未満は「C」と表示します。参考情報は、「何問正解したか」を表す情報であり、尺度得点とは異なります。合格判定の対象にはなりません。



授業のヒント

じゅぎょう

テーマ

アニメ・マンガを通して
日本語を楽しく学ぶ

目的 もくてき
アニメ・マンガの日本語を通して、楽しく日本語・日本語のバリエーションを学ぶこと。
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
初級後半～ しょきゅうこうはん
クラスの数 おんすう
何人でも なんにん

◆学習者とアニメ・マンガ

世界中の若者に日本のアニメ・マンガは大人気です。調査によると、アニメ・マンガ好きの学習者のほとんどは、音声を吹き変えたものよりも、字幕つきのアニメを好んで見ているそうです。そんな学習者は、「アニメで日本語はかわいいと思った。アニメに出てくる日本語を知りたいと思った」授業で習った言葉や文法をアニメで見、聞いてわかったのうれしかった「アニメやマンガを見て日本に興味を持ち、日本へ行ってみたいと思うようになった」教科書には載っていない言葉の意味が知りたい」と思っているそうです。つまり、アニメやマンガが日本語学習の動機付けになっていると言えます。

◆アニメ・マンガを使って日本語を学ぶ

●ストーリーテリング

誰でも、自分が好きなものについて話したい、まだ知らない人に教えてあげたいと思うでしょう。アニメ・マンガを使った活動として、「ストーリーテリング」を紹介し、この活動ではアニメ・マンガ作品のストーリーについて、少しまとまった話をします。

作品を紹介するのに必要な情報は(1)登場人物の紹介(2)基本的なストーリー展開です。学習者の日本語レベルが高くなれば、登場人物同士の人間関係や詳しいストーリーの紹介もできるでしょう。まずはペアやグループで自分の好きな作品を紹介しあい、その後、クラスで発表します。

この活動のいい点は、学習者が自分のレベルに合わせて話せることです。例えば、以下のようなパターンを提示すれば、初級の学習者でも話せるでしょう。

- ・これは😊の話です。
- ・😊は、(どんな人)です。
- ・<タイトル>は😊が・・・をする話です。
- ・😊は(いつ・どこで・だれと・何を)します。

以下は、『ドラえもん*』のストーリーテリングの例です。

私は『ドラえもん』を紹介します。
これは、ドラえもんというねこのロボットと、のび太という男の子の話です。
ドラえもんは未来から来ました。
のび太は小学生で、いつも問題があります。
ドラえもんはポケットの中から便利な道具を出して、のび太を助けてあげます。

もちろん、そのアニメ・マンガには、その作品にだけ登場する固有名詞や独特の用語がたくさんあるので日本語でストーリーを話すのは難しいことです。しかし、自分が好きなアニメ・マンガのストーリーなので、学習者の「話したい」という気持ちが非常に強く、日本語の知識を総動員して伝えようとするでしょう。

◆アニメ・マンガに出てくる日本語を学ぶ

アニメ・マンガで使われている日本語を見ると、キャラクターごとに特徴的な言葉があることがわかります。

例えば、「おじいさん」が「わしは、～じゃ。」のように言ったり、女の子が「あたし、～君がだーい好きっ」と言ったりします。アニメやマンガをよく知っている人は、言葉を聞いただけで、誰が話しているか、すぐに想像できます。アニメ・マンガでよく登場するのは、男の子、女の子、野郎、侍、おじいさん、執事、お嬢様、大阪人の8つのキャラクターで、それぞれに特徴的なことばや表現があります。

●キャラクター表現と日本語のバリエーション

次の3つの文を比べてみてください。

- (1) そうよ、あたし、知ってるわ。
- (2) そうだよ、ぼく、知ってるよ。
- (3) そうや、わて、知ってんで。

これら3つの文の意味は全て「そうです。私は知っています。」ですが、形が違います。それぞれ誰が話している言葉だと思いますか。「あたし」「ぼく」という一人称や「～わ」「～で」などの文末表現をヒントに考えるといいと思います。答えは(1)女の子(2)男の子(3)大阪人です。

キャラクター表現の中でも、特に呼称や文末表現は特徴的です。

自己紹介をするとき、お嬢様は「わたくし、～といたしますの。」と言うし、侍は「拙者は～と申すものでござる。」と言います。同じ意味の表現にもキャラクターによって色々なバリエーションがあるのです。どんなキャラクターがどんな表現を使うのかがわかってくると、まねしてみたくありませんか。

● ロールプレイ

キャラクターの表現を紹介したら、次は好きなキャラクターになって会話をするロールプレイの活動をしましょう。下の例は、女の子と大阪人のキャラクター同士の会話です。

女の子：おはよう
 大阪人：まいど
 女の子：あなただれなの？
 大阪人：わて、田中いいまんねん。
 われ、何者や？
 女の子：あたし、さくら。おじさん、東京の人？
 大阪人：いやーちゃうで。大阪やで。
 女の子：そっか、ごめんね。なかよくしてね。
 大阪人：よろしゅーたのんます。ほな。
 女の子：じゃーね

この活動のポイントは「なりきる」ことです。高い声で話すのか、低い声で話すのか、スピードはどうかなどに注目し、キャラクターになったつもりで会話することで、キャラクター表現とその音声的な特徴を楽しみながら体感することができます。アニメ・マンガが好きな学習者は、教師以上にキャラクターになりきったロールプレイができるかもしれません。

活動の前には、簡単な会話で使いそうな表現をキャラクターごとにまとめたハンドアウトを作っておきます。学習者の意見を聞きながら表をつくってほしいし、教師が事前に準備しておいてもいいでしょう。学習者は自分になってみたいキャラクターを選び、表を見ながら

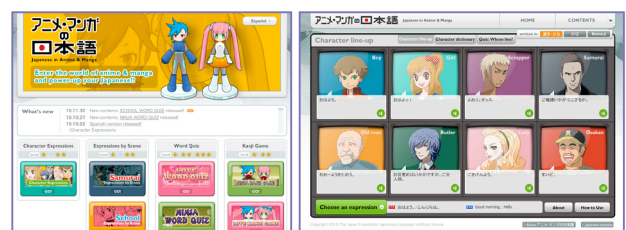
ペアで会話を作ります。

	男の子	女の子	お嬢様	野郎
おはよう	おはよう	おはよっ	ごきげんよう	オッス
さようなら	バイバイ	じゃーね	ごきげんよう	あばよ
はい、 そうです	うん、 そうだよ	うん、 そうよ	ええ、 そうですわ	ああ、 そうだぜ
いいえ、 ちがいます	ううん、 違うよ	ううん、 違うわよ	いいえ、 そのような ことは なくてよ	そりゃ、 でまかせ だぜ

学習者は自分で表を見ながらなりたいキャラクターの表現を探してペアで会話を練習します。

◆「アニメ・マンガの日本語」Webサイト

関西国際センターでは、アニメ・マンガに現れる日本語を楽しく学べるwebサイト「アニメ・マンガの日本語」(http://anime-manga.jp)を制作しました。



(トップ画面)

(Character Expressions)

「Character Expressions」はいろいろなキャラクターの表現の違いを知ることができるコンテンツです。音声も聞けるので、キャラクター表現をクラスで扱うときは、ぜひ参考にしてみてください。

(サイトの詳しい紹介は以下でも読めます。)

http://www.jpfc.go.jp/j/japanese/report/23.html

参考文献

- 熊野七絵 (2010) 「日本語学習者とアニメ・マンガ～聞き取り調査結果から見える現状とニーズ～」 『広島大学留学生センター紀要』 20号、89-103
 - 熊野七絵 (2010) 「趣味から日本語学習への架け橋～アニメ・マンガの日本語」Webサイト開発～」 『日本語学』 29-4、60-69
- * 『ドラえもん』 作：藤子・F・不二雄

このコーナーの担当者：川嶋恵子 / 関西国際センター日本語教育専門員
 読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗例などぜひお寄せください。